

神楽フェスティバル・中九州ジャンボかぼちゃ大会開催

道の駅・波野「神楽苑」で10月6日と7日、第16回神楽フェスティバルが開催され、2日間で約4,000人の観客が会場に詰め掛けました。

フェスティバルでは、波野地区の横堀岩戸神楽保存会や中江岩戸神楽保存会、波野子ども神楽をはじめ、大分県や島根県の神楽団体計10団体が出演し、豪快で華麗な舞いを披露しました。



▲横堀岩戸神楽保存会による演目「八雲弘」
やくもほらい



▲中九州ジャンボかぼちゃ大会

また、同時開催された第7回中九州ジャンボかぼちゃ大会では、イベントデッキに303個の巨大かぼちゃが陳列される中、6部門において審査が行われ、阿蘇清峰高校が「努力賞」に輝きました。大会にあわせ、かぼちゃ重量当てクイズやかぼちゃスケッチ大会も行われ、会場は多くの観客で賑わいました。



▲作業中の皆さん

昔の生活支えた「牛馬道」再び… トレッキングで阿蘇の魅力を発信

地元自然愛好家グループ(阿南善範代表ほか10人)が、昭和30年頃から車の普及などで利用が途絶えた牛馬道を、散策道(トレッキングコース)として復活させ注目を集めています。

牛馬道は、牛馬が農作業用として使われていた頃、飼料となる草を運ぶための山から里へ続く道。外輪山に多く見られ小さな道まで数えると当時50本近くあったと言われています。

阿南さんたちは、道づくりのために延々草刈り作業を行い、現在、兜岩コース(三久保)と伝次坂コース(狩尾)の2本の道を甦らせました。9月に120人がこのコースでトレッキングを行い大好評を得ました。「今後も阿蘇の美しさを多くの人たちに知ってもらうため、新たなコースづくりやトレッキングの開催を行っていきます」と皆さん。阿蘇の魅力の発信に大いに貢献されています。



▲道の完成神事の様子

※トレッキングに興味のある方は、090-4515-7056(阿南氏)までご連絡ください。

防火の決意を誓って



第10回阿蘇地域幼年消防大会が10月24日、阿蘇体育館で開催され、阿蘇郡市の保育園・幼稚園(23園中19園参加)の園児約380人が参加しました。

これは、阿蘇郡市の幼年消防クラブが一堂に会し、防火思想の普及啓蒙やクラブ員の相互融和を図るために行われる大会で、隔年で実施されています。

この日、園児たちによる伝統芸能や鼓笛演奏、遊戯などが披露され、園児たちの元気あふれる動きと掛け声に会場は拍手に包まれました。



▲内牧、乙姫、黒川、山田保育園による合同遊戯